

白石市立白石中学校

○ 私たちの取組

- ※ 毎月10日をいじめゼロの日としていじめ防止活動（白石市PSCパトロール隊を中心に実施）

○ 取組の紹介

- ※ ピンクTシャツ運動（カナダが国を揚げてピンク色のシャツを着て、いじめ撲滅を訴える活動）の紹介
- ※ 朝の会でいじめ防止を呼びかけ
- ※ 「社会からいじめをなくそう」というメッセージが入ったティッシュを全生徒に配布



白石市立白石中学校

○ 私たちの取組

- ※ 朝のあいさつ運動

○ 取組の紹介

- ※ 生徒会執行部を中心に朝の登校時間中にあいさつ運動を行っている
- ※ 一日の最初の生徒同士のコミュニケーション
- ※ 心が晴れやかになるようなあいさつを心掛けている



白石市立白石中学校

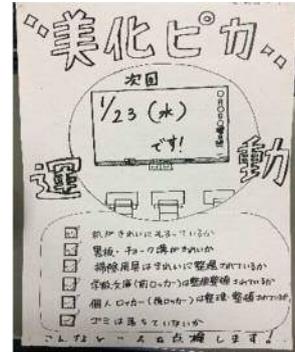
○ 私たちの取組

※ 美化ピカ運動

○ 取組の紹介

※ 月1回、清掃強化の日を設けている。なお、担当生徒が各クラスの状況を確認しながら、審査を行い、取組が丁寧な学級を翌日の昼の放送で結果報告をしている

※ 校内の環境整備を行うとともに、クラスメイトとコミュニケーションをとりながら、協力して清掃することで絆を深めるという試みで実施



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立南中学校

○ 私たちの取組

いじめについて考える全校集会　～　p4cの手法を用いて　～

○ 取組の紹介

7月はいじめ防止月間のためp4cの手法をつかって、いじめについて考える集会を全校で行いました。

全校生徒から事前にみんなと考えてみたいテーマ、対話してみたいテーマについてアンケートをとり、全校生徒で対話を行った後に各学級でもいじめについて考える時間を設けました。

いじめは絶対にしてはいけないという理解を全校で深める良い機会となりました。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立南中学校

○ 私たちの取組

生徒会主催で行う球技大会

○ 取組の紹介

数年前に生徒総会で「球技大会を実施したい」という意見が出されたのをきっかけに、冬休み前最後の登校日に毎年生徒会主催で球技大会を行っています。

チームは縦割りで編成し異学年間の交流を深めることはもちろん、先生方も参加するため生徒と先生方の交流にもなっています。

また、競技も「全校生徒が楽しめる」、「技能差が無いように」と配慮したり、ルール作りを工夫したりして行っています。今年度はドッチビーを行いました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立白川中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止の呼びかけとあいさつ運動」

○ 取組の紹介

白石市内の中学校では、警察・企業と連携してPSCという組織を作り、安心安全な街づくりのための活動をしています。その活動の一つにピンクTシャツ運動があります。カナダで始まったピンクTシャツ運動をヒントにした活動でいじめを生まないための活動です。白川中学校ではこの活動を校内だけでなく小学生にも広げるために、登校時間に小学校へ行って「社会や学校からいじめをなくそう」というメッセージが書かれたティッシュを配りました。

また、白川中学校ではあいさつ運動を大切にしています。あいさつは人との関わりで一番大切なものです。誰にでもあいさつが飛び交うような環境を作っていけばいじめのない明るい生活が送れると考えています。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立福岡中学校

○ 私たちの取組

いじめ防止プロジェクト①「p4cを活用した話し合い」

○ 取組の紹介

1年生から3年生までを縦割りのグループに分け、宮城教育大学、上廣倫理アカデミーの先生方のご協力をいただきながら、いじめのどんなことについて話し合いたいのか、話し合いのテーマを決め、そのテーマについてp4cを活用して話し合いました。

話し合いのテーマは

「いじめる側の人とはどんな気持ちなのか」

「なぜいじめは起こるの？」

「学校がなければいじめはなくなる？」

「いじめ、て結局、誰が悪い？」などでした。

縦割りで活動してみて先輩や後輩の考えも知る

ことができ、とても良い機会になり、いじめについて

真剣に考える最初の一歩になりました。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立福岡中学校

- 私たちの取組

いじめ防止プロジェクト②「福中独自の『私たちの誓い(決意)』を作成」

- 取組の紹介

「みやぎ小・中学校いじめ問題を考えるフォーラム」へ福中からも2名の生徒が参加し、「いじめのない誰もが行きたくなる学校づくり」に向け「私たちの誓い(決意)」を作成したという報告を受け、執行部で話合った結果、自分たちも独自のいじめ防止に関わる「私たちの誓い(決意)」を考えたいということになりました。

「私たちが行きたくなる学校」「私たちが取り組むこと」について、3年生が中心となって各班で真剣に話し合い、まとめました。事前にp4cを活用して、いじめについて話し合いをしておくため、話し合いをスムーズに行うことができました。

その後、行う臨時生徒総会での発表のために準備や練習も行いました。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立福岡中学校

○ 私たちの取組

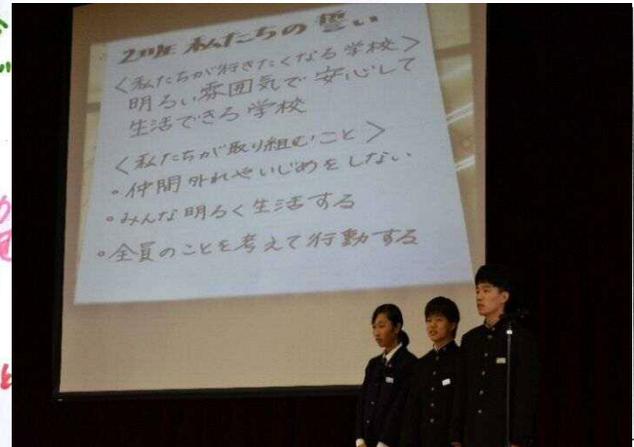
いじめ防止プロジェクト③「臨時生徒総会を招集し『私たちの決意(誓い)を発表』」

○ 取組の紹介

各班でまとめたいじめ防止に関わる「私たちの決意(誓い)」を発表しました。

「行きたくなる学校」としては、「明るい雰囲気の中で安心して生活できる学校」、「個性を大切に、
解り合える学校」、「人と人との違いを認め合
える学校」、「自然に笑顔であいさつがで
きる学校」などが挙げられました。

「私たちが取り組むこと」としては、「いろいろな
人の意見や気持ちを尊重する」、「ポストでいじめ
防止を呼びかける」、「他学年との交流を深め意見
が言い合える雰囲気をつくる」、「あいさつ活動
(アイカツ!)をする」といふ意見がありました。
この「私たちの決意」を今後、実践していきたいと
思います。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立小原中学校

○ 私たちの取組

全校生徒でのピンクTシャツ運動

○ 取組の紹介

白石市では毎月10日を「いじめゼロの日」としていじめを生まないための取組を各校で行っています。小原中学校では毎月10日に全校生徒でのピンクTシャツ運動を行っています。カナダでは2月の最終水曜日を「いじめ反対の日」に掲げ、国を掲げてピンク色のシャツを着て、いじめ撲滅を訴える活動を行っています。今ではカナダ全土、イギリス、アメリカなど、世界75カ国に広まっています。この活動を小原中学校でも行うことで、生徒の間で「いじめは許さない」という意思表示を行っています。

また、小中併設校ということで小学校に中学生が出向き、いじめ撲滅を呼びかけながらティッシュを配る活動を行いました。

小学校でも中学校でも、いじめが生まれない「行きたくなる学校」であるために、このような活動を行っています。



（様式）いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

白石市立東中学校

○ 私たちの取組

「毎月10日はいじめゼロの日」運動

○ 取組の紹介

○「白石市いじめ防止大会」で提唱された「毎月10日はいじめゼロの日」を全校生徒に意識してもらうための活動を行う。

「毎月10日・・・」は、市の全ての小中学校で行っている運動である。

○生徒会執行部を中心に活動をしている。

○毎月10日に放送で全校生徒への呼びかけをしている。

「いじめゼロの日」を意識すること、いじめをしないように、させないように、全校生徒で取り組むように呼びかけている。

○学級委員に各学級でも呼びかけをするように依頼し、運動が広がるよう努力している。

○今後は、ポスターを作成する予定にしている。

○新入生に意識してもらうよう新年度にはポスターを掲示する。
新入生は、各小中学校で同じ運動をしているので、すぐに理解してくれると期待している。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

角田市立角田中学校

○私たちの取組

縦割り活動 テーマ「いじめがなく、より良い人間関係をつくるために何ができるだろうか。」

○取組の紹介

- ・ 1～3年生を縦割りにし、グループでテーマについて考えました。3年生は司会進行やグループの班長を務めました。
- ・ 道徳の時間に学級で考えたことを発表し合い、その後テーマについて「個人でできること」「生徒会や学級など集団で取り組めること」を付箋に書いて話し合いました。
- ・ グループで出た意見をまとめ、1年生の代表が発表しました。
- ・ 後日の全校集会では、道徳の授業や縦割り活動の様子の紹介、校長先生の講話、生徒作文発表がありました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

角田市立北角田中学校

○ 私たちの取組

「ありがとうの木」

○ 取組の紹介

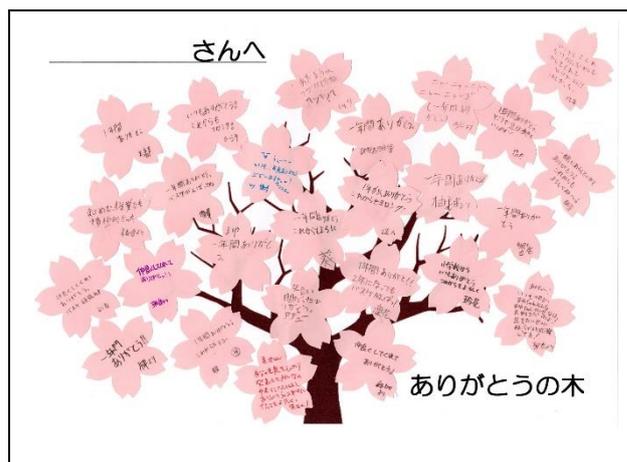
北角田中学校の生徒の中には、自分に自信がなく、学校生活に不安を感じている生徒がいます。

そのため、生徒同士がお互いを認め合う活動として、日頃の感謝をメッセージに込めてありがとうを送り合う活動をしています。

友達の良いところを見つけるのはちょっと難しいですが、そのひとの良さを改めて見つけることができます。

また、自分がメッセージをもらうのは恥ずかしいですが、とても嬉しいことに気がきました。

この取組のおかげで、学校に行くのが少し楽になりました。メッセージを貼り付けたありがとうの木は宝物として大切に保管しています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

角田市立北角田中学校

○ 私たちの取組

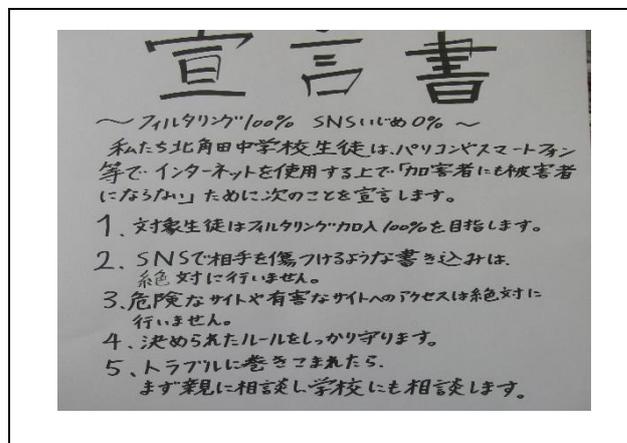
「フィルタリング100%、SNSいじめ0%宣言」

○ 取組の紹介

パソコンやスマートフォン、タブレット等でインターネットを使用する際に、生徒が被害者にも加害者にもならないために、北角田中学校ではフィルタリング100%、SNSいじめ0%をめざし、次の宣言を行っています。

1. 対象生徒はフィルタリング加入100%
2. 相手を傷つける書き込みはしない
3. 危険サイトへのアクセスはしない
4. 決められたルールを守る
5. トラブルは親や学校にすぐ相談する。

この5つを毎年宣言し、生徒一人一人がインターネット、SNSを使う際にトラブルにあわないよう気を付ける取り組みを行っています。



○ 私たちの取組

Z A O P S C TeamE の生徒による活動

○ 取組の紹介

① 5のつく日の朝7時45分から8時5分まで、校門前で安全・安心な学校づくりの啓発活動を実施している。

② 「いじめ防止標語コンテスト」に参加して、全校生徒からいじめ防止・根絶を呼び掛ける標語を募集している。募集した標語の中からいくつかを廊下に掲示すること等を通して、いじめを生まない「生きたくなる学校づくり」に取り組んでいる。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

蔵王町立 遠刈田中学校

○ 私たちの取組

生徒会企画『ハッピーボックス』（しあわせ目安箱）の設置

○ 取組の紹介

『ハッピーボックス』

学校生活を良くするための生徒会に対する要望や意見はもちろん、学校生活の中で感じた小さな幸せ、例えば、「こんなことがあってうれしかった!」「友だちのこんないいところ見つけたよ!」などをハッピーボックスに入れてもらう。そして、寄せられた「ハッピー」なことは、昼の放送などで紹介し、皆で共有するという企画です。

私たちは、「いじめ問題を考えるフォーラム」で「行きたくなる学校」を「互いを尊重し、助け合える学校」だと考えました。学校に戻って話し合い、その実現のためには、お互いを認め、理解し合うことが必要だという意見にまとまりました。その手段のひとつが『ハッピーボックス』です。プラスの気持ちを共有することをきっかけに、連帯感や信頼の気持ちを高め、居心地のいい温かい居場所をつくり「行きたくなるい学校」を目指します。



「いじめを生まない『行きたくなる学校づくり』の取組」

七ヶ宿町立七ヶ宿中学校

○ 私たちの取組

いじめの標語を考えよう！

○ 取組の紹介

- 1 「みやぎ小・中学生いじめ問題を考えるフォーラム」の報告
- 2 ワークショップ（グループに分かれての話合いと意見交換）
 - (1) 「いじめはなぜいけないのか」
 - (2) 「誰もが行きたくなる学校って？」
- 3 標語の募集・決定
 - (1) 標語（案）の募集
 - (2) 標語（案）の掲示（1週間）
 - (3) 標語の投票・決定
 - (4) 標語が採用された生徒の表彰
 - (5) 標語をもとにしたいじめ防止宣言への署名
 - (6) 標語の掲示
- 4 「いじめ防止標語コンテスト」への出展



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大河原町立大河原中学校

○ 私たちの取組

みんなが聞いて楽しめる「生徒会放送」の工夫

○ 取組の紹介

毎週金曜日の給食の時間に、生徒会役員が中心となり、「生徒会放送」を行っています。テーマは、「みんなが聞いて楽しめる放送」です。生徒会から全校生徒にアンケートを取って、行事の振り返りをしたり、季節にあった豆知識を紹介したりしています。

特に今までに行った内容として、

- ・「なぜ勉強するのか？」について、生徒会役員と先生との対談の放送
- ・「お悩み相談室」というコーナーをつくり、生徒会役員が中学生の悩みについて真剣に、時にはユーモアを交えて答える放送

など、みんなが楽しめる内容を企画し、毎週放送しています。放送後は、生徒からの反応も良く、先生方も楽しみにしている方も多く聞いています。これからも、みんなが楽しめる放送の企画を考え、放送していきながら、楽しい学校づくりを目指していきます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大河原町立金ヶ瀬中学校

○ 私たちの取組

地域ボランティア

○ 取組の紹介

金中保健委員会のタオルボランティア活動について。このタオルボランティアは、自宅で使わずにねむっている景品などでもらったタオルを集めて金ヶ瀬地区にある福祉施設に届けタオルを役立ててもらおうという活動です。この活動は6年目になります。毎年地域の方にはとても感謝されている活動です。福祉施設ではあげたタオルは高齢者のお風呂などいろいろなことで役立ちます。金ヶ瀬中学校の生徒のやさしい気持ち地域に伝えています。

タオルでちょぼらご報告

66枚

66枚集まりました
タオルボランティア
ご報告

66枚

66枚

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大河原町立金ヶ瀬中学校

○ 私たちの取組

今日のMVP発表

○ 取組の紹介

毎日、帰りの会に各班で話し合い、その日のMVPを1人選出する。その選出基準は「こんないいことをした」「こんなこと頑張っていた」「こんなことをしてくれた」など、班のため、学級のため、学校のために活躍した生徒である。そのことを学級全体で共有することでお互いを認めたり、尊重したりするので自然といじめはなくなる。また、毎日行うことで「明日はこうしよう!」「明日も頑張ろう!」という気持ちになり、学校に行きたくなる。

MVP発表

毎日、帰りの会で行う。
各班1分間程話し合い

「こんなことを頑張っていた」
「こんなことをしてくれた」
などの理由から選出し、発表する。
これを一定期間行い、選出された回数が多い生徒を表彰する。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

大河原町立金ヶ瀬中学校

○ 私たちの取組

生徒会レクリエーションの実施

○ 取組の紹介

生徒会でレクリエーション大会を企画・実施し、全校生徒で楽しく過ごせる時間をつくっています。今年は一学期期末テスト終了後に行いました。ゲームは誰もが楽しめるようなものにし、チームも縦割りにして学年間の交流が深まるように工夫しました。今回行ったのは「宝探し」と「ドッチボール」です。「宝探し」は校舎中からキーワードを探るゲームで、学年や男女関係なく、誰もが協力して取り組むことができ、ドッチボールは勝っても負けても、全員が笑顔で楽しめたことが印象的です。全校生徒が十分に隔たりなく楽しめる活動を行うことができるのはとても良いことだと思えます。「行きたくなる学校づくり」のためにも続けていきたいです。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

丸森町立丸森中学校

○私たちの取組

- 1 2学期の終業式に全校生徒の前で、いじめフォーラムに参加した時の内容を伝え、「いじめを起こさない環境を作りましょう。」と呼びかけました。
- 2 学校をよりよくするための標語を全校生徒から募集し、優秀な作品を校内に掲示しました。

○取組の紹介

【標語募集の取組】

いじめフォーラムの報告後、学校をよりよくするための標語を全校生徒から募集しました。テーマは「いじめ防止」「あいさつ」「思いやり」とし、冬休み中に考えてもらい、3学期の始業式の日回収しました。

集まった作品を生徒会執行部（8名）で審査し、良かった作品をテーマ別に5～8作品ずつ選出しました。それを先生方にも見ていただき、良かった作品に投票してもらいました。優秀な作品は表彰するとともに昇降口や廊下に掲示しました。この活動を今後も継続していきたいと思えます。

